

【京都大学】×【近江八幡市】安土城下町再生
『水と文化 葦舟で結ぶ風景の一考察』
－安土で育むべきモノとは－

○趣旨

安土城跡及び西の湖は、合併前の安土町において「安土町歴史文化基本構想」などで、活用が検討されてきた経過があります。

合併後の新市において、更なる歴史資産の保存・活用と良好な水辺環境の保全により、地域の魅力向上と観光の活性化を図るため、平成26年3月に「近江八幡市安土城下町地区都市再生整備計画」を策定し、平成26年度から計画の事業化に着手しているところです。

この動きと連動するかたちで、地域住民による推進団体「安土城下町再生協議会」が発足するなど、官民協働による整備体制が整いつつあります。

まちづくりは、行政と地域、関係者だけではなく、そこに若者が加わり共に知恵を出し合うことで、取組の品質がより一層高まることが期待できることから、今回、当地における地域活性化に向けた自主研究を行っている学生から、その研究成果を発表していただくと共に、地域住民と意見を交わすことで、本事業の深化につなげていきたいと考えます。

○対象 市民（安土城下町再生協議会、安土学区まちづくり協議会、等） 30名

○日時 平成27年11月27日（金） 午後7時

○場所 西の湖すてーしょん

○プログラム

19:00 開会挨拶及び安土城下町再生事業について 【大林安土町地域自治区長】
(15分)

19:15 話題提供「地域固有の歴史的・文化的特質を生かした総合的な地域づくり」
(15分) 【山口敬太氏（京都大学大学院工学研究科助教）】

19:30 研究発表「地域資源の活用による安土・近江八幡の活性化戦略」
(40分) 【学生有志（安土・近江八幡プロジェクト）】
京都大学大学院景観設計学研究室

今年3月から、京都大学大学院工学研究科において、近江八幡市安土町の西の湖沿岸の水郷景観を題材として、歴史文化資産を基盤とした都市の景観・観光整備に関する研究を自主的に実施されています。

今回、市が、大学の研究の成果を市民に向けて発表いただく場を設けるものです。

20:10 意見交換（総括：山口先生）
(50分)

21:00 閉会挨拶 【安藤会長（安土城町再生協議会）】

○主催 近江八幡市

○協力 安土城町再生協議会、安土学区まちづくり協議会、安土町商工会

○問合せ 近江八幡市安土町総合支所地域振興課（担当：矢野）TEL 0748-46-3141